

# 地質ニュース

昭和44年4月

第176号

1969

解説	日本列島の生い立ちをさぐる ⑥-1.....河合正虎・1				
	滝の上および岳の湯の地熱調査井.....馬場健三・10				
トピックス	神浦ダム・長崎市の水資源開発と西彼半島 半島総合開発の拠点.....服部仁・16				
	ローム台地の崖くずれ—川崎市の場合—..... <table><tr><td>岡重文</td><td rowspan="3">}</td></tr><tr><td>桂島茂</td></tr><tr><td>清水道也</td></tr></table> ・19	岡重文	}	桂島茂	清水道也
岡重文	}				
桂島茂					
清水道也					
	沖縄の家庭燃料事情と天然ガス ②.....福田理・28				
	地球化学の話 ⑩.....倉沢一・34				
	元素の名称とその由来.....青木義和・43				
海外事情	アルゼンチンの自然と非鉄金属鉱物資源 ②.....上野三義・52				
	学会掲示板.....33				

## 編集地質調査所

表紙の写真

発行 株式会社 実業公報社

層状マンガン鉱床—岩崎海岸付近—(西津軽・北秋田路 3) 深浦・岩崎地方は西津軽の層状マンガン鉱床地帯として知られている。採掘の開始は明治中頃にまでさかのぼるが、鉱床がいずれも小規模なためその後何も休止と再開をくり返してきた。鉱床は層状あるいはレンズ状で第三紀層の堆積岩の中に層理に平行して挟在する。特徴的なのは鉱床に“ソープストーン”と呼ぶ粘土化層や“虎石”と呼ぶ珪質岩を伴うことで、このことから鉱床は海底温泉作用によって生じたものと考えられている。写真は岩崎海岸付近の露頭で白い部分の凝灰質砂岩と黒色の部分のマンガン鉱層が互層し、上部にはノジュール状のマンガン鉱が並んでいる。優勢な鉱体では黒色の鉱層が1~3mの厚さになる。このようなマンガン鉱床がどんな堆積環境、そして火山作用との結びつきで生じたかは、地質学的に非常に興味深いことである。(盛谷智之)